

札商街角ウォッチャー調査結果（1月）

平成19年2月

札幌商工会議所 総合企画部

札商街角ウォッチャー調査結果（1月）

調査概要



- 趣 旨 本調査は、一般消費者に近い立場にある方々の景気に対する実感を反映した動向調査で、現場で働く人々から、それぞれの仕事やお客様から感じる身の回りの景気動向についてお聞かせ頂き、結果を取り纏めて公表し、会員への情報提供に役立てるとともに、当所の景気判断の材料として諸事業活動に反映させています。
- 調査対象 市内及び周辺の13業種・15名をウォッチャーとして委嘱して調査を実施、11名より回答を得た
- 調査内容 ①現在の身の回りの景気について（景気現状水準判断）
②前年同月と比べた景気動向について（景気現状判断）
③3ヶ月後の景気見通しについて（景気先行き判断）
④トピック
- 調査方法 直接面談、FAX、電子メールのいずれかにて調査を実施
調査は基本的に四半期毎に実施
- 調査時期 平成19年1月下旬

1月調査結果

問1) 今月のあなたの身の回りの景気は良いと感じますか、悪いと感じますか。

回 答	良い	やや良い	どちらとも いけない	やや悪い	悪い	合計
回答者	なし	ホテル（宿泊） ホテル(宴会) 美容室	旅行代理店(道内客) 観光ハイヤー 印刷会社 新聞販売店	スーパー 飲食店(地元客主体) スキー場 理容室	なし	
配 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	
回答数	0	3	4	4	0	11
点数計		12点	12点	8点		32点

景気の現状についての上記5段階の判断に、それぞれ5点～1点の点数を与え、平均値を算出しています。

今回調査（1月）	平均値 2.9		前回調査より平均値が0.2ポイント下落し、景気水準が悪化している。
前回調査（10月）	平均値 3.1		前回調査より平均値が0.3ポイント上昇し3を上回り、景気の認識水準が上がっていることを示している。
前々回調査（7月）	平均値 2.8		

問2) 今月のあなたの身の回りの景気は前年同月と比べて良くなっていると感じますか、悪くなっていると感じますか。

良くなっている	ホテル(宴会)	地元企業の景気も上向いてきた影響か、これまで新年行事を行っていなかった企業からの新年交礼会などの案件が入り、好調だった。
やや良くなっている	美容室	今年(H19年)に入っても、客単価上昇、客数微増の傾向が依然として続いている。
	観光ハイヤー	観光客による利用は昨年よりも少ないが、ジュニアスキースクールの送迎など別分野の仕事でカバーし、客単価は低いながら売上増加
変わらない	旅行代理店(道内客)	旅行商品の販売量は全体として変わっていない。行き先別に見ると、道内旅行は都市部の大型温浴施設の増加によると見られる近郊温泉の集客力低下が目立つ。本州旅行は東京ディズニーリゾートが好調を維持しているほかは、旅行会社の値下げ合戦により疲弊状況。海外旅行は台湾、豪州行きが好調で、他は横這い又は微減。
	ホテル(宿泊)	1月は業界全体としては、特にイベント等もなく、昨年と変わりがない様子。
	印刷会社	春先の年間最大の需要期を前に、案件の事前情報が乏しい。
	新聞販売店	新聞購読数、折込チラシの動きが、ともに前年と変わらない。
やや悪くなっている	スーパー	年末年始にかけて特段の材料がない中、買物動向は冷えたまま推移し、競合も激化しており、客数も減少傾向である。
	飲食店(地元客主体)	全体の客数は変わらないが、客単価が下落している。予約客が多い分、観光客を含むフリー客が少なくなっている。
	スキー場	今シーズンは、近郊のスキー場に比べ当スキー場は降雪・積雪もあり、入込み増を期待していたが、期待通りの来客とはなっていない。又、来場者の消費単価が昨年より下落している。道外客も昨年より減少している。
	理容室	冬場はお客様の来店間隔が長く、昨年と比べて特に変化はない。
悪くなっている	なし	

問3) 3ヵ月後のあなたの身の回りの景気は、今月と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

良くなる	印刷会社	官公庁などの年度末の需要や、来年度に向けた見積り段階の案件受注に期待できる。
やや良くなる	美容室	昨年（H18年）中盤から客数が増加傾向にあり、また客単価も上昇傾向が続いている為。
	理容室	例年3月より、暖かくなるにつれて客数が増える。入学シーズンとも重なり来客が増える見込み。
変わらない	旅行代理店 (道内客)	今年のゴールデンウイークの曜日配列は、前半、後半を分断する並びになっており、旅行需要増大の期待が持てない。また、統一地方選、参院選の2回の選挙を控え、旅行客の動きが鈍化すると見ている。
	新聞販売店	特に変化はない見込み。
やや悪くなる	スーパー	景気が良くなるような材料が見当たらない。
	飲食店 (地元客主体)	過去の経験から、統一地方選が近づくと、組合関係者などの客足が落ちる見込みである。
	ホテル(宴会)	4月は小規模な会議などが入ると思われるが、宴会のピークシーズンである1月に比べると落ちる。
	ホテル(宿泊)	4月は、11月とともに一年で最も稼働率が低い月であり、今年も大きな動きがなく例年同様となる見込み。
	スキー場	スキー場の降雪・積雪がベストコンディションにもかかわらず来客が伸び悩んでいる状況から、3ヵ月後のオフシーズン近くに来客が伸びるとは予想しづらい。
	観光ハイヤー	4月は例年閑散期であるため、低調を見込む。5月末の観光シーズン入りまでをどう乗り切るかで年間の売上が左右される。
悪くなる	なし	

問4) 特記事項・話題になっている事柄・出来事などがありましたら、お聞かせ下さい。

<p>飲食店 (地元客主体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 同業者仲間によると、江別などの郊外で営業する居酒屋では、景気が良いという話を聞くが、特に中央区の同業者からは不振との話を多く聞く。家の近くまで帰ってから飲む人が多くなっているのではないかと。
<p>旅行代理店 (道内客)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雪祭りの入込み見通しは芳しくない。また、2月下旬からのノルディックスキー大会も盛り上がりには欠け、旅行需要の増大につなげていない。
<p>ホテル (宴会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年末にノロウイルスによる食中毒が騒ぎになって以来、(カキが原因ではないと言われる中でも) 各ホテルとも、一斉に宴会でのカキの使用を差し控えている。
<p>ホテル (宿泊)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2月は、雪祭り、中国の旧正月、受験生などにより宿泊客数・客単価ともに上向くと見ている。 旭川市には宿泊施設が多くないため、旭山動物園見物の前・後泊に札幌のホテルが組み込まれるツアーが見られ、その点では札幌のホテルにも旭山動物園効果がある。 一方、市内中心部で数軒のホテル新設の動きがある。今後の競争激化が見込まれる中で、特にオフシーズンの料金競争が懸念される。
<p>スキー場</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以前は、冬のレジャーといえばスキーであったが、レジャーの多様化に伴い、スキー人口が減少傾向にある。その為、景気の良い本州でもスキー場は苦戦しているのが現状。
<p>観光ハイヤー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旅行業界関係者の間では、今シーズンの本州からのスキー客の出足が鈍いのは、雪が少ないことが一因だろうという話である。 流しのタクシーについては、雪が少ない為、(車は走りやすくて良いが) 天気がよく道もよいので乗客が伸びていないようである。
<p>印刷会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1月に同業他社が1社破産、他にも不渡りを出す企業があるなど、一昨年あたりから印刷業界は厳しい状況が続いている。 ウインドウズ・ビスタが発売されたが、それに伴い、客先からの原稿データ形式変更などに対応する必要があるだろう。

札幌商工会議所
札幌街角ウォッチャー調査結果（1月）
平成19年2月6日 発行
【お問い合わせ・照会先】
札幌商工会議所 総合企画部
札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター
TEL：011-231-1330 FAX：011-222-5215
Mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp